

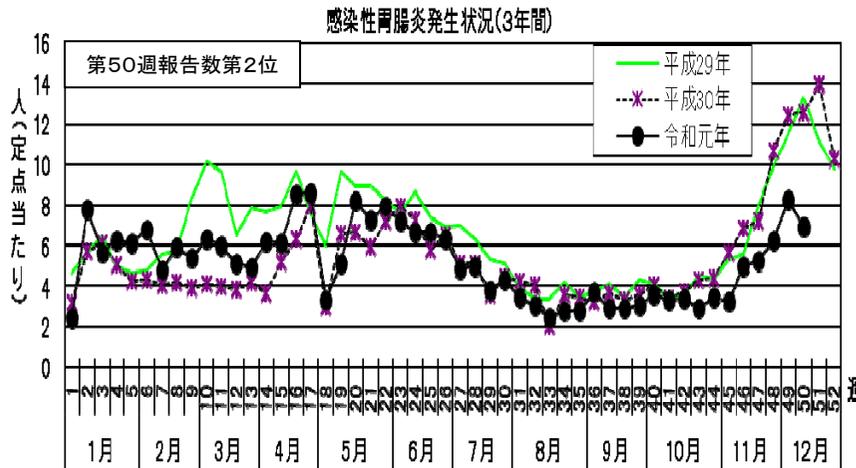
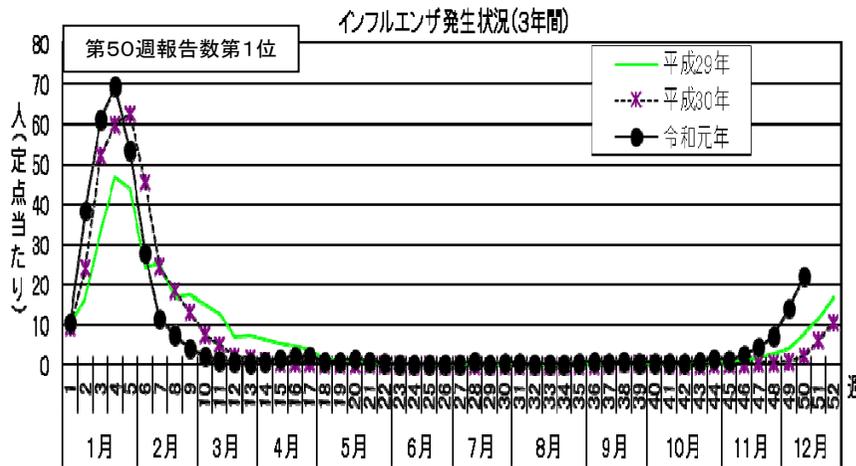
今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和元年12月9日（月）～令和元年12月15日（日）〔令和元年第50週〕の感染症発生状況

第50週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は22.31人と前週（14.08人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は6.92人と前週（8.24人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は5.22人と前週（4.62人）から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。

インフルエンザウイルス
★インフルーくん★

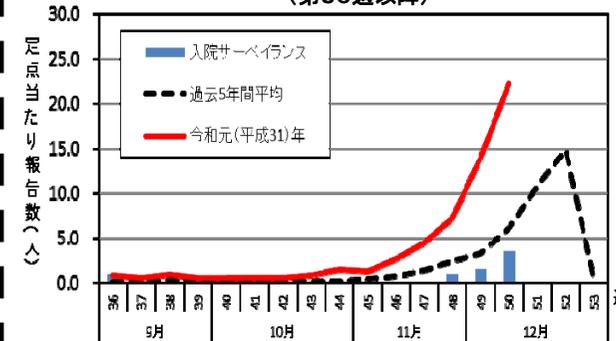


インフルエンザの報告数が急増しています！

川崎市では、令和元年第50週（12月9日～12月15日）のインフルエンザの定点当たり患者報告数が22.31人となり、前週（14.08人）から急増しています。

流行開始となった第44週（10月28日～11月3日）以降に、健康安全研究所に搬入されたインフルエンザの検体からは、すべてAH1pdm09型（2009年に流行した型）のインフルエンザウイルスが検出されています。同じ型による2009年の流行時には、重症肺炎や脳炎・脳症などの重症合併症の報告がみられました。気管支喘息や慢性閉塞性肺疾患（COPD）などの呼吸器疾患や免疫不全の方、妊婦の方は特に重症化のリスクが高いため、御注意ください。

川崎市におけるインフルエンザ発生状況 (第36週以降)



川崎市におけるインフルエンザ検出状況 (令和元年第1週から第49週結果判明分まで)

